

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他飲食〔居酒屋〕 （経営者）	・徹底した外商活動で地元客が安定している。また、去年来店した観光客の口コミで4月以降の観光客の予約が前年比で20%ほど多く入ってきている。
	やや良くなる	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・例年なら「良くなる」を選択するが、今年の状況から判断して予測が困難なため「やや良くなる」としている。当社のビジネス商材（Tシャツ）からして、今後半年間は現状の20%～50%の売上増が見込める。
		コンビニ（経営者）	・在庫を持たないよう仕入れを抑えていたが、食材を大量購入する客が増えており、弁当、おにぎり、サンドイッチ等の商品を増やして客の様子をつかっている。
		衣料品専門店（経営者）	・この冬から春にかけては、客は何を買えば良いのか分からないという雰囲気だったが、季節が変わり、夏物の時期になると大分良くなる。
変わらない	百貨店（担当者）	・天候不順の影響はいかんともし難い。天候が安定しなければ、4月初旬までの大きなウエイトを占める新生活需要に少なからず影響がみられる。ただし、返礼ギフトを始めとする食品ギフトは依然堅調に推移していることから、店舗全体に対しては大きな変化は少ない。	
	スーパー（経営者）	・チラシ販促が奏功し、売上、来客数共に前年を上回っている。ただし、依然客の買い回り傾向は続いており、今後競合店の出店もあって、競争はますます激化する。	
	コンビニ（エリア担当）	・来客数の横ばい、単価の微減傾向は今後も変わらない。	
	コンビニ（エリア担当）	・競合店等の出店や地域の衰退による客数減少が売上の減少に直結している傾向が続き、客単価の定着からみても今後も販売動向の上昇はしばらく無い。販売点数や商品の販売動向をみても余分な購入は無いため、個人の消費力は変わらない。	
	その他専門店〔楽器〕（経営者）	・観光客の増加とリピーター率の上昇で商品の選択が厳しくなっている。競争相手も増加している。商店街の日曜日の歩行者天国で地元の人が増えているので、それに伴う販売促進策の実施を積極的に進めたい。	
	高級レストラン（営業担当）	・4～6月は観光需要として修学旅行が例年どおり好調の見込みである。観光施設の当社も期待するが、必ずしも学生のニーズにマッチするとは限らず、修学旅行が好調になれば当社は反比例する傾向にある。そのため、観光入域が若干成長すると仮定しトータルでは変わらない。別の角度で見ると、競合店の相次ぐ閉鎖で当社指定の客は増加する見込みである。	
	観光型ホテル（商品企画担当） 観光名所（職員）	・稼働率は前年を少し下回るペースで推移しているが、収入は単価の上昇により前年並みを確保できる見込みである。 ・3月の沖縄への入域観光客数は、前年同月以上の数字を確保している。これから先も大きな変動要因は見当たらず暖かい沖縄、沖縄ブームで沖縄への入域観光客は順調に推移する。	
やや悪くなる	観光型ホテル（営業担当）	・去年に比べ団体客の予約が減少している。	
悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街では現在、観光客が足を踏み入れても金をなかなか使わない状況に反して店が増えて、大変厳しい状況下にある。観光関連で何とか売れている店もあるが、他の買い回り品は大変苦戦している。国が景気は良いと言ってもどこが良いのか分からないという話をよく耳にする。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	広告代理店（営業担当）	・県内企業は、減収増益傾向にある現況に対して課題認識を強めている。増収を目指す姿勢が見え、実際に2007年度からの販促活動についても、効果が期待できるのであれば積極的に行なっていく機運も高まっている感がある。
	変わらない	食料品生産業（管理部門）	・原料の肉類や副資材類が高値で安定している。
通信業（営業担当）		・市場のパイが限られているので、法人向けの大幅な回線増は期待できず、価格競争も激しい。一方、個人向け光ファイバー回線は、都心部のマンション建築の増加に伴い、マンション用回線の受注増が期待できる。	

		会計事務所（所長）	・小売業では消費者が価格に対して敏感に反応している。したがって、当分は客単価も向上する要素がない。
		コピー業（代表者）	・紙媒体の印刷業は、年々ITあるいは、他の情報産業との競争に遭い、厳しい状況にある。2～3か月で好転はしない。印刷は製造業であり、設備投資を行ったとしても影響が出てくるまで時間が掛かる。
	やや悪くなる	建設業（経営者） 輸送業（営業・運営担当）	・引き合い件数が減少傾向にある。 ・新年度より大口の取引が終了となる。また例年どおりゴールデンウィーク、その後の梅雨入りと荷物の動きが鈍くなる時期になるなど、現時点では良い条件は見当たらない。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	学校〔専門学校〕（就職担当） 学校〔大学〕（就職担当）	・企業の採用活動はこれからというところもあり、求人数増加に期待が持てる。また、特に大手で新規求人企業の採用の話もあるため、これからの期待が持てる。 ・県内企業の大多数が2006年度より雇用を増やす、少なくとも現状維持するという予定である。また、企業合同説明会では採用側と学生側が共に熱気が出ている。更に県が雇用目標を達成するために様々なワーキンググループを召集、開始しているので雇用環境が大変明るく、かつ改善基調にある。
	変わらない	人材派遣会社（経営者） 求人情報誌製作会社（営業担当） 職業安定所（職員）	・結構良い状況で推移している。この状況を大幅に超える依頼や売上というより、現在の数字を堅調に維持していく。 ・年度初めであり、大きなイベント等による人材の動きもあまり感じられず横ばいの状況が続く。 ・4月、5月は契約満了等の保険手続き者が増える傾向で新規求職者が増加すると予想されるが、製造業の大量求人は見込まれない。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-